

令和 2 年度（2020 年度）

事業報告書

社会福祉法人 ありんこ

◇本部	1 頁～
◇障害福祉サービス事業所ありんこ	5 頁～
◇ライフサポートセンターさかえ	
・ GH あさひ GH そよかぜ	12 頁～
・ 短期入所事業所 ありが亭	15 頁～
◇ライフサポートセンターありんこ	
・ 富士北麓障がい者相談支援センターありんこ	18 頁～
・ 障がい者就業・生活支援センターありす	19 頁～
・ 訪問型職場適応援助者事業	23 頁～

**社会福祉法人ありんこ**  
**令和2年度事業報告書**

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

**【法人概要】**

種類及び名称	社会福祉法人ありんこ		
所在地	山梨県富士吉田市大明見 1-13-28	Tel) 0555-22-7217	
代表者	理事長 渡 邊 秀 樹		
設立年月日	平成 13 年 10 月 26 日		

**【法人の事業】**

■第二種社会福祉事業（障害福祉サービス事業）の実施

種類及び名称	障害福祉サービス事業所ありんこ										
所在地	山梨県富士吉田市大明見 1-13-28										
電話番号	0555-22-7217			F A X 番号		0555-22-7218					
代表者	施設長 桑原由紀枝			サービス管理責任者		桑原由紀枝					
事業開始年月日	平成22年4月1日					金森大					
	定員		年度末現員		開所時間		9時～16時30分(7.5時間)				
自立訓練(生活訓練)	6名		5名		開所日		月～金曜日(土・日の行事あり)				
就労移行支援	6名		6名		開所日数		自立訓練(生活訓練)		253日		
就労定着支援	20名		2名				就労移行支援		254日		
就労継続支援B型	30名		35名				就労継続支援B型		260日		
職員	職 種	施設長	副施設長	サービス管理責任者	生活支援員	職業指導員	就労支援員	就労定着支援員	目標工賃達成指導員	調理員	事務員
	人 数	1	1	2	9	10	1	1	1	2	3
内 容	訓練科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調理、清掃、洗濯、裁縫、草取り等家事訓練</li> <li>・ 体力づくり</li> <li>・ コミュニケーション訓練、金銭管理訓練、衛生管理訓練、生産従事訓練</li> <li>・ 社会人マナー訓練、社会資源活用体験</li> <li>・ 就職活動相談及び支援</li> <li>・ 企業実習、施設外就労、施設外支援</li> <li>・ パソコン技能、運転免許取得等の学習</li> </ul>									
	授産種目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紙器加工、精密部品処理、野草他サンプル等の袋詰めなどの簡易受注作業</li> <li>・ お弁当、お菓子、手工芸品、加工品などの自主製品づくりと販売活動</li> </ul>									
	他の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉事業所を利用して就職された方の就労定着・生活支援</li> <li>・ アルミ缶や古紙などの回収、分別</li> <li>・ バザーや模擬店の出店</li> <li>・ カフェ運営</li> <li>・ 各種研修会への参加</li> <li>・ 地域との交流事業</li> <li>・ レクリエーション活動</li> <li>・ 余暇活動、創作活動支援</li> <li>・ ボランティア活動</li> </ul>									

■第二種社会福祉事業（障害福祉サービス事業）の実施

種類及び名称	グループホームあさひ			
所在地	山梨県富士吉田市旭 2-15-12	Tel) 0555-22-3770		
代表者	管理者 桑原節子	サービス管理責任者	桑原節子	
事業開始年月日	平成30年4月1日	バックアップ施設	障害福祉サービス事業所ありんこ	
定員	5名		年度末現員	5名

従たる事業所	グループホームそよかぜ		
所在地	山梨県富士吉田市下吉田 5-13-18	Tel) 0555-23-0294	
事業開始年月日	平成 19 年 11 月 1 日		
定員	7 名	年度末現員	7 名
職員	管理者兼サービス管理責任者 1名 (常勤) 世話人 6名 (非常勤)		
事業の運営方針	障がいをもつ方が、地域で当たり前のように生活できるような環境づくりを目指し、本人の意思及び人格を尊重し、健全で主体的な生活が送れるように、利用者の立場に立って援助を行い、自立生活や地域活動の充実を図ります。		

#### ■第二種社会福祉事業（障害福祉サービス事業）の実施

種類及び名称	短期入所事業所ありが亭		
所在地	山梨県富士吉田市旭 2-15-12	Tel) 0555-22-3770	
事業開始年月日	平成 30 年 4 月 1 日	利用定員	3 名
職員	生活支援員 5 名		
事業の運営方針	居宅の生活が一時的に困難になった障がい者に対し入浴・排せつ・食事・着替えの介助・見守りその他必要なサービスを提供して、日常生活上の支援を行います。		

#### ■第二種社会福祉事業（相談支援事業）の実施

種類及び名称	富士北麓障がい者相談支援センターありんこ * 指定特定・指定障害児相談＝富士吉田市指定 指定一般相談＝山梨県指定		
所在地	山梨県富士吉田市新西原 3-4-20		
電話番号	0555-30-0505	F A X 番号	0555-30-0506
代表者	管理者 角張 洋和	事業開始年月日	平成 23 年 4 月 1 日
相談担当者	相談支援専門員 1名 (常勤) 1名 (非常勤)		
事業の目的と内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者、家族、介護者、関係者等（以下「障がい者等」という。）からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言、その他の障がい福祉サービスの利用等、必要な支援を行うことにより、障がい者等が自立した生活または社会生活を営むことが出来るようにします。</li> <li>サービス等利用計画・障害児支援利用計画を作成し、モニタリングを実施し継続支援を行います。</li> <li>地域移行支援、地域定着支援を行います。</li> </ul>		

#### ■公益事業の実施

種類及び名称	障がい者就業・生活支援センターありす (国、県からの委託事業)		
所在地	山梨県富士吉田市新西原 3-4-20		
電話番号	0555-30-0505	F A X 番号	0555-30-0506
代表者	センター長 三浦 誠	事業開始年月日	平成 23 年 4 月 1 日
職員	主任就労支援員 1名 (常勤) 就労支援員 1名 (常勤) 生活支援員 1名 (常勤) 1名 (非常勤)		
事業の目的と内容	就職を希望する障がい者、職場不適応により離職した障がい者や離職のおそれがある在職中の障がい者に対し、就業及びこれに伴う日常生活、社会生活上の支援を行うことにより、障がい者の職業生活における自立を図ります。		

#### ■公益事業の実施

種類及び名称	訪問型職場適応援助者事業		
所在地	山梨県富士吉田市新西原 3-4-20		
電話番号	0555-30-0505	F A X 番号	0555-30-0506
代表者	管理者 三浦 誠	事業開始年月日	平成 29 年 4 月 1 日
職員	第一号ジョブコーチ 2名（兼務）		
事業の目的と内容	障がい者の職場適応に課題がある場合に、職場に向いて、障がい特性を踏まえた専門的な支援を行い、障がい者の職場適応を図ることを目的としています		

### 【法人の運営】

#### 〈理事会の開催〉

	開催年月日		決 議 事 項
1	R2. 6. 30		令和元年度事業報告について 令和元年度収支決算報告について その他
2	R2. 10	書面にて報告	理事長決裁事項報告 法人活動報告 ほか
3	R2. 1. 20		令和2年度第一次補正予算（案）について 山梨県障害福祉課による実地指導について 役員報酬規程について その他
4	R3. 3. 26		令和2年度第二次補正予算（案）について 令和3年度事業計画（案）について 令和3年度収支予算（案）について 各種規定の制定について その他

#### 〈評議員会の開催〉

	開催年月日		決 議 事 項
1	R2. 6. 30		令和元年度事業報告について 令和元年度収支決算報告について その他
2	R3. 1. 20		令和2年度第一次補正予算（案）について 山梨県障害福祉課による実地指導について 役員報酬規程について その他
3	R3. 3. 29		令和2年度第二次補正予算（案）について 令和3年度事業計画（案）について 令和3年度収支予算（案）について 各種規定の制定について その他

<その他の活動>

月	日	曜	主な活動内容
4	1	月	新年度始業式
	24	金	新人職員オリエンテーション
6	29	月	法人内部監査
	30	火	甲府法務局へ資産変更登記
7	3	金	参議院委員宮沢ゆか様来所
	14	火	都留信用組合渡辺理事長ご尊父葬儀参列
8	9	日	高座神社祭典参列
	17	月	山の神社祭典参列
9	18	火	参議院委員宮沢ゆか様懇談会
	5	土	健康科学大学オンライン就職説明会
10	17	木	キャリアパス研修①(管理者研修)受講
	18	金	評議員 藤井悦子様 ご尊父葬儀参列 マルヒロ 大峰様 ご尊母葬儀参列
11	21	水	キャリアパス研修②(エルダーメンター研修)受講
	25	水	新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金支給
12	18	金	実地指導(ありんこ・そよかぜ)
1	7	木	相談支援部貴家さんご尊父葬儀参列
	17	金	天神社祭典参列
2	3	水	初午祭
3	19	金	日中活動支援部三浦沙織さんご祖父様 通夜参列
	24	火	共生型研修参加

<一般寄付金>

連合山梨 様 岡田俊哉 様 勝俣高彦 様 貴家 清隆 様 20日会(ありんこ後援会) 様  
富士吉田地区労働者福祉協議会 様

<物品寄付>

吉田ガス(株) 様 松山油脂(株) 様 富士山の銘水(株) 様 カーテン工房 Dream 様  
NPO法人ガイヤ 様 エコテクノロジーズ 様 梶原工業所 様 金丸ふじ江 様  
明見中環境美化委員会 様 富士北稜高校 様 羽田 進 様 テレビ山梨厚生文化事業団 様  
富士吉田キューピー 様 クロダ(株) 様 小林はる子 様  
慈光院 様 ファルマフード研究所 様 亀齡堂 様 富士牛乳 様 和田京子 様  
住友生命山梨支社ふじやま支部 様 住友生命労働組合山梨支部 様  
ふじやま介護サービス(株) 様 富士トマ 様 トミヤコーヒー 様

# 障害福祉サービス事業所ありんこ

## 令和2年度事業報告書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

### 1. 利用者

定員 生活訓練 6名 就労移行 6名 就労定着 20名 就労B型 30名  
 年度末現員 生活訓練 5名 就労移行 6名 就労定着 2名 就労B型 35名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生活訓練	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5
就労移行	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	4	6
就労定着	2	2	2	2	2	1	2	1	2	1	2	2
就労B型	36	36	36	36	36	36	35	35	35	35	35	35
合計	48	48	48	48	48	47	47	46	47	46	46	48

生活訓練 = 12月 1名利用開始（新規・就労から）

就労移行 = 6月 1名終了  
 11月 1名終了（生活へ）  
 3月 2名利用開始（新規） / 7月 1名利用開始（新規）  
 1月 1名終了（就職）  
 1名終了

就労定着 = 変更なし

就労B型 = 10月 1名終了

支給決定市町村	富士吉田市	35名	富士河口湖町	5名
(延べ実人数)	山中湖村	1名	忍野村	1名
	西桂町	2名	都留市	1名
	道志村	1名	上野原市	2名

### 2. 職員

施設長	1名	サービス管理責任者	2名	就労支援員	1名
就労定着支援員	1名	目標賃賃達成指導員	1名	職業指導員	10名
生活支援員	9名	調理員	2名	事務員	3名

### 3. 開所日数・延べ利用人数・1日平均利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
生活訓練	日	22	18	22	23	20	22	22	21	20	20	20	23	253	4.0
	人数	81	71	85	87	76	81	87	80	95	89	86	118	1,036	人
就労移行	日	22	18	22	23	20	22	22	22	20	20	20	23	254	4.7
	人数	107	87	95	114	104	118	117	116	91	94	72	98	1,213	人
就労B型	日	22	18	23	23	22	22	23	22	21	21	20	23	260	32.7
	人数	747	619	758	766	683	735	754	702	684	651	660	763	8,522	人
合計	日	22.0	18.0	22.3	23.0	20.6	22.0	22.3	21.6	20.3	20.3	20.0	23.0	255.4	42.1
	人数	935	777	938	967	863	934	958	898	870	834	818	979	10,771	人

#### 4. 工賃・謝金等支払月別状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
生活 訓練	支払総額	18,385	22,256	19,381	24,756	19,669	20,791	36,898
	平均謝金	4,596	5,564	4,845	6,189	4,917	5,198	9,225
就労 移行	支払総額				21,399	17,323	16,601	31,571
	平均賃金				3,567	2,887	2,767	5,262
就労 B型	支払総額				175,000	175,000	175,000	175,000
	平均賃金				5,000	5,000	5,000	5,000
		11月	賞与	12月	1月	2月	3月	合計
生活 訓練	支払総額	36,996	80,000	35,541	39,093	40,111	211,607	605,484
	平均謝金	9,249	20,000	7,108	7,819	8,022	8,280	11,424
就労 移行	支払総額	33,571	90,000	32,534	34,759	23,866	223,480	525,104
	平均賃金	5,595	15,000	6,507	6,952	5,967	37,247	10,502
就労 B型	支払総額	175,000	1,750,000	175,000	175,000	170,500	2,592,631	5,738,131
	平均賃金	5,000	50,000	5,000	5,000	4,871	74,075	13,728

#### 5. 活動報告

##### ①自立訓練(生活訓練)

調理訓練(季節: ちらし寿司・月見団子・かぼちゃのすいとん・バレンタインチョコ等)  
 (全員: クラッカー・クッキー・サンドイッチ・ヨモギ蒸しパン・おやき・フルーツムース  
 フレンチトースト等)  
 (個別[月1回]: ハヤシライス・焼きそば・目玉焼き・ひじきサラダポテトサラダ  
 オムライス・いちごサンデー等)  
 掃除訓練 洗濯訓練 裁縫訓練 買物訓練 金銭訓練  
 四季の行事活動(ひな祭り・七夕・十五夜等) 野菜栽培  
 麦の穂会活動(麦の穂展[山梨中央銀行吉田支店])  
 ふれあいセンター教室へ参加(陶芸・料理・茶道・絵手紙・クラフト) 創作活動  
 コミュニケーション訓練 体力づくり 地域清掃活動 月間目標決め

令和2年度は、利用者4名でスタートし、12月より1名が増え5名での活動となりました。内3名は2年目を迎え、生活訓練の活動にもすっかり慣れ、様々な訓練を準備から片付けまでスムーズに行うことが出来ました。利用者5名は、皆同級生なので気心が知れていて和気あいあいと楽しく過ごしていました。

1年の活動の流れは、前年と大きく変わることはありませんでしたが、新型コロナウイルスの影響で外出訓練が出来ず、イベントや各種教室にも制限があり、窮屈感がありました。幸い作業訓練として請け負っている内職作業は、大きく落ち込むことがなく、作業の説明を聞く姿勢、作業を続ける集中力、他者と協力する力等を養うことが出来ました。また、4名がクロダ(株)にて体験実習を行いました。社員さんと顔を合わせた際は、挨拶や言葉使い等に緊張感はありましたが、作業評価も良く、仕事をするを通して、自立へのステップを踏めたと感じております。

その他、作品を展示する機会(麦の穂展示会: 山梨中央銀行吉田支店、Qスタ展示会)が増え、難度の高い作品にも挑戦しました。また、調理訓練に於いても、手際が良くなり、作りたい料理を自分で決め、使いたい食材を選び、楽しみながら進めることが出来ました。

3名は4月から就労継続B型へ移行しますが、生活訓練で学んだことを十分に生かし、活躍していただけると期待しております。

## ②就労移行支援・就労定着支援

個別訓練(パソコン、各種運転免許、読み書き・計算、金銭管理、清掃 等)  
就職準備訓練(ビジネスマナー、履歴書等書類の書き方、面接練習、会社見学  
ハローワーク活用 等)  
作業訓練(部品の検査や組み立て、洗車作業、環境整備作業 等)  
施設外訓練(企業実習、施設外支援や施設外就労の提供 等)  
その他(研修会やイベントへの参加)

令和2年度、就労移行支援では、9名の方にサービスを利用させていただきました。一般就労者は2名、就職に向けた実習件数は3件(3社)でした。コロナ禍の影響を受け、ハローワークの求人数が減少し、利用者の就職活動が大幅に制限され、厳しい1年となりました。そんな中、就職者数を出すため、ハローワークの求人だけに頼るのではなく、就労定着支援事業やジョブコーチ支援などでつながりのある企業にアプローチし、なんとか2名の就職者を出すことができました。また、初めての試みとして、山梨障害者職業センターと共同で、利用者向けのオンライン研修を実施しました。コロナ禍における新しい支援の方法として、利用者、職員にとって貴重な経験ができたと思います。

また、就労定着支援事業の契約者数は2名でした。コロナ禍の影響で地域全体の就職者数が減少したことも影響し、契約者数を増やすことができませんでした。また、企業訪問も制限され、利用者との対面による支援を行うことができない時期もあり、思うように支援を提供できないことがありました。

今後もコロナ禍の影響は続きます。コロナ禍においても就労実績や定着実績をあげるためにはどうすればいいかを考え、今までのやり方にとらわれるのではなく、広い視野を持って業務に取り組んでまいります。

## ③就労継続支援B型

精密部品加工作業      チラシ等封入作業      紙器加工      野草等計量梱包作業  
シール貼り作業      保冷剤袋入れ作業      リサイクル品の収集と処理作業  
農作業      環境整備作業      縫製作業      マスク・ビーズアクセサリー製作  
施設外就労      うどんカフェや企業での就労及び実習  
地域交流活動      地域清掃活動      体力作り      創作活動      四季の行事体験      時事学習

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、受託作業の受注量の減少、施設外作業の休止、イベントの相次ぐ中止等による授産品の販売機会の減少など大きな影響を受け、利用者の月額作業工賃を一律5,000円とせざるを得ない状況となりましたが、「山梨県支援がにつながる手作りマスクプロジェクト」への参画や、施設外就労先との新たな契約、就労支援部会等で地域の事業所間の情報を交換・共有し、事業所合同販売やQスタ販売(ふくしワクワクショップ)の開始につなげることができ、成果を得ることができた一年でした。

### <作業係>

作業班所属の利用者は年々増加傾向にあり、利用者の障害特性に対応し安心して作業に臨むことができる環境を整えるために、地下作業室の整備を進めることを令和2年度の事業計画に掲げていましたが、地下室の電力や換気等の設備が不十分などの理由から実現はできませんでした。新型コロナウイルスの感染拡大により事業所の密な空間を解消するために、4・5月は利用者の状況把握を行いながら在宅支援を行い、その後はライフサポートセンターさかえの空きスペースを使用し、個々の利用者が安心して作業を行うことができるよう作業空間を確保し調整を日々行ってきました。利用者の皆さんは体調を崩すことも少なく、この1年間概ね元気に通うことができました。これからも毎朝の健康状態の聞き取りを継続しつつ、生活状況の把握、医療との連携、衛生対策の徹底を行い、密を避けつつ安心安全な作業環境の提供を心掛けていきたいと思っております。

一年を通し保護者の方から2件、取引先企業様から3件苦情をいただきました。全て真摯に受け止めて改善していくことはもちろんですが、ありんこ職員の心構えにあるような信頼される職員になれるよう、一つ一つの業務に誠実に取り組んでまいります。



#### <お菓子係>

- ・菓子等製造作業 ・食品加工業（梅漬け・干しブドウ・ジャム・切干大根等）
- ・販売
- 施設合同販売（地域交流センター・ヨハネ学園・ヨハネ支援センター）
- 加藤電器（4月25日から販売開始 毎週木曜日）
- シチズン時計マニファクチャリング（株）（奇数月1回）
- 道の駅富士吉田 三つ峠グリーンセンター 市立病院売店
- 季節販売（クリスマス・バレンタインデー・ホワイトデー）

令和2年度も前年度に引き続き、利用者の方と職員の健康・衛生面のチェックを心がけて作業に取り組みました。作業は個々のペースに合わせて行い、利用者の方が自主的に作業を行うことができるように手順書を用いたり、クッキー生地を切る作業やシール貼り作業などがやりやすいように治具を工夫し活用しました。

イベント等の中止が重なり販売の機会が減りましたが、ナッツ・チョコレート菓子等の新たな商品の試作やありんこ内庭にて小さな菜園を作り野菜を育て収穫する時間がとれ、販売することができました。

食品表示法に沿い、衛生管理を心がけて菓子や加工食品を調理することができました。

#### <ありんどう係>

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、富士吉田市民会館で行われるイベントや会議の中止、市立図書館の業務の縮小・休止、ありんどうの4月中旬から2か月間の営業休止などが収益に大きく影響しました。

ありんどうの経営を維持していくために「就労継続支援事業所生産活動活性化事業補助金」を申請し、空気清浄機やパーテーションなど感染症対策の備品を購入し、衛生対策に取り組み「やまなしグリーンゾーン認証」を1月に取得することができました。

お客様に安心して利用していただくことと共に、魅力のある店舗を目指しメニューの充実について検討し、補助金を利用してコーヒーマシンを購入しました。また「Go To Eatキャンペーン」の取扱加盟店への登録もしました。

令和2年度から、ありんどう係会議を不定期ですが開催し、運営に関わる担当職員の意見交換や、ありんどうで働く利用者についての情報共有や支援の検討、課題解決に向けて話し合う貴重な機会となりました。11月末には運営委員会で、ありんどうの現状に対して法人職員全体で検討する必要性が挙げられ、お客様へのアンケートや法人職員のアンケートを実施し、集約した意見をありんどうの運営に生かしていくこととなりました。

#### <厨房係>

令和2年度はコロナ禍の影響を受け、大きなイベントにおける特別弁当の注文が減少し、厳しい1年となりました。しかし反対に個人宅からのお弁当の注文依頼は増加しました。外出を控える方が多く、宅配弁当の需要が高まったのではないかと考えます。また、夏場と冬場には、コロナの影響を受けた観光業のホテル様より、従業員さん向けのお弁当を注文して頂きました。コロナによって新たな視点で顧客を開拓できたことはプラスになったと思います。

今年度はイベントのほとんどが中止となり、ありんこでの行事も開催されない中、利用者さんに、食事を通して何か楽しみを作れないかと考え、厨房では行事食の提供を行いました。イレギュラーなメニューに大変喜んで頂けたようなので、来年度以降も食事を通して年中行事や季節を感じて頂けるよう、献立を工夫していきます。

利用者さんは4名でのスタートとなりました。長年メンバーの変動がなく、利用者さんも年齢を重ねていく中で、体力の衰えが見られるようになりました。職員の体調不良も目立った1年でしたので、来年度は利用者さんの増員を視野に入れ、個々の負担が分散できるようにしていきたいと思えます。また、今年度新しく厨房会議を取り入れ、職員間で情報を共有することが出来たので、その中でお弁当の受注数や作業内容を都度検討していき、無理のない働き方を目指します。

④その他

定例職員会議	職員会議：毎月15日(休日の場合は前日の平日)に開催 就労継続B課会議：毎月第2水曜日 厨房会議：毎月第1金曜日 他 就労移行支援会議・ありんどう会議 (随時)
支援計画	個別支援計画に係るケース会議、説明並びに同意の面談の開催 (随時) 計画相談における関係者会議やモニタリングへの出席 (随時)
職員研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入職員オリエンテーション (4/22)</li> <li>・就業支援基礎研修 (7/7 14 15)</li> <li>・被災地から見えた防災の地域づくりと感染予防 (8/7)</li> <li>・強度行動障害支援者養成研修基礎研修 (8/25 26)</li> <li>・日本財団 就労支援フォーラムオンラインミーティング (8/24~26)</li> <li>・強度行動障害事例検討会 (9/19)</li> <li>・ヤマト福祉財団 障害者の働く場パワーアップフォーラム (9/25)</li> <li>・障害者の就労について考える研修会 (11/7)</li> <li>・サービス管理責任者更新研修 (9/30 11/18)</li> <li>・発達障害者の就労支援研修 (11/20)</li> <li>・山梨フォーラム2021 (1/22)</li> <li>・障がい者の親から学ぶ権利擁護 (3/14)</li> <li>・共生型を学ぶ研修「共生ケアで生きる力を育む」 (3/24)</li> </ul>
会議への出席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士北麓圏域自立支援協議会 就労部会</li> <li>・山梨県知的障害者支援協会スタッフ部会</li> </ul>
実習、体験受入れ	ふじざくら支援学校 やまびこ支援学校 あけぼの支援学校 桃花台学園 相談支援員の紹介者 都留文科大学 健康科学大学
イベントの開催・参加	なし

月	日	曜	主な活動内容
4	1	水	新年度開始式
	15	水	B)ありんどう臨時休業(～6/15)
	29	水	昭和の日 開所日(施設内作業・訓練)
5	1	水	B)市内5事業所合同授産品販売開始
	4	土	B)山梨県支援がつながる手作りマスクプロジェクト ミシンの受け取りと製作指導を受ける
	14	木	B)いちやま마트赤坂店リサイクル品分別作業体験開始 (6/4より引き継ぎ)
6	1	月	渡邊栄元施設長のお墓参り
	22	月	就)体験実習者受け入れ(～6/26)
	25	木	厨)山梨県食品衛生協会お弁当試験結果陰性
7	3	金	参議院議員宮沢ゆかさん来所
	17	金	明見中学校環境美化委員様よりプランター植えの花3個寄贈を受ける
	23	木	海の日 開所日(ペットボトルボウリング)
	24	金	スポーツの日 開所日(ゴミ拾い活動)
	29	火	B)やまなしグリーンゾーン認証説明会へ職員出席
8	4	火	生就)避難訓練(地震想定)
	10	月	山の日 開所日(縁日・スイカ割り)
	17	月	就)あけぼの支援学校実習生1名受け入れ(～8/19)
9	7	月	健康科学大学精神保健福祉士実習生受け入れ(～9/8)
	21	月	敬老の日 開所日(スポーツ大会)
	22	火	秋分の日 開所日
	29	火	ふじざくら支援学校よりⅡ期実習生受け入れ(～10/9 就労2名・継続B1名)
10	5	月	都留文科大学介護等体験実習生2名受け入れ(～10/9)
	13	火	やまびこ支援学校Ⅱ期実習生受け入れ(～10/23 就労1名)
	18	日	三和防災様 定期点検
	26	月	都留文科大学介護等体験実習生2名受け入れ(～10/30)
11	3	月	山梨県障害者文化展(～11/7 於山梨県立図書館)7名出展
	3	月	文化の日 開所日
	9	月	明見中学校環境美化委員様よりプランター植えの花2個寄贈を受ける
	11	水	富士トマ様よりフルーツマト400ヶ寄贈を受ける
	16	月	都留文科大学介護等体験実習生2名受け入れ(～11/20)
	23	月	勤労感謝の日 開所日(ハガキづくり)
	11	月	B)富士・東部地区食品衛生協会食品営業従事者微生物検査異常なし
12	11	金	山梨県障害福祉サービス事業所実地指導
	14	月	ふじざくら支援学校1名実習生受け入れ(就労移行 ～12/24)
	17	木	テレビ山梨厚生文化事業団様よりクリスマスケーキの寄贈を受ける
	28	月	2020年仕事納め 大掃除
1	4	月	2021年仕事始め
	8	金	障害者作品展(於Qスタ ～1/17)
	19	火	ふじざくら支援学校1名・桃花台学園1名実習生受け入れ(就労移行 ～1/26)

月	日	曜	主な活動内容
1	11	月	成人の日 開所日(成人のお祝い)
	13	水	就)オンライン職業準備支援①
	22	金	就)オンライン職業準備支援②
	27	水	利用者定期健康診断
	22	金	住友生命労働組合山梨支部様・住友生命保健相互会社山梨支社様よりタオルの寄贈を受ける
	29	金	麦の穂展示会(於:山梨中銀吉田支店 ~4/30)
2	3	水	初午祭
	11	木	建国記念日 開所日(クイズ大会)
	12	金	富士北稜高校生徒さんより、手作りマスクと学校生活紹介DVDをいただく
	22	月	都留文科大学介護等体験実習生2名受け入れ(~2/26)
	23	火	天皇誕生日 開所日(富士北稜高校の生徒さんが制作したDVDを視聴しお礼状を書く)
3	12	金	くるみ福祉作業所職員・利用者見学受け入れ
	25	木	消防訓練実施

グループホームあさひ・そよかぜ

令和2年度事業報告書

(令和2年 4月 1日～令和 3年 3月 31日)

1. 利用者

◎ GHあさひ (定員 5名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者	3	3	3	3	3	4	5	5	5	5	5	5
退居者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計	3	3	3	3	3	4	5	5	5	5	5	4

◎ GHそよかぜ (定員 7名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
退居者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7

◎支給決定市町村 富士吉田市 (6名) 都留市 (1名) 西桂町 (1名)  
 富士河口湖町 (1名)  
 上野原市 (2名) 清瀬市 (1名)

2. 職員

管理者兼サービス管理責任者 (常勤) 1名

世話人 (常勤) 1名 (非常勤) 6名 (1名は他事業所と兼務)

3. サービス内容

- (1) 食事の提供 (朝食 夕食)
- (2) 日常生活の支援
  - ・ 日中活動の支援
  - ・ 掃除、洗濯、買い物等への支援及び働きかけ
  - ・ 悩みや不安などの相談事への助言等の支援
- (3) 医療及び健康管理の支援
- (4) 金銭管理の援助
- (5) 障害者総合支援法に係わる申請の援助
- (6) 行政手続きの代行

4. 山梨県共同募金会様より

山梨県共同募金会様よりホットカーペットを頂きました。大切に使用させていただきます。

## 5. 総括

令和2年度は、4月1日よりグループホームあさひに1名の方が入居し、グループホームあさひは3名、グループホームそよかぜは7名、合わせて10名でのスタートとなりました。その後グループホームあさひは、8月の体験をへて9月に入居者1名、9月の体験をへて10月に入居者1名があり、5名となり開所以来初めて5名の定員を満たすことができました。しかし年度末に1名の利用者が家庭の事情により退居されましたので、来年度早々には希望者を募るために各関係機関とも連携をとっていきたいと思います。

女性のグループホームそよかぜは、一般就労者2名の方がおりますが、新型コロナの影響で休職になった方には会社さんへ連絡調整をしたり在宅中の支援なども行いました。もう一人の方は時間短縮になったことにより手取りのお給料にも響いておりますが支援者で見守っている状態であります。

事業所に通所している他の利用者は、コロナ過で、仕事が少なくなったり、工賃が少なくなったりしている方もおりますが、新型コロナに感染することなく元気に通所できたことはよかったです。引き続き感染対策をしっかりとし、グループホームに新型コロナウイルスを持ち込まないように対策を徹底していきたいと思います。

また、新型コロナ感染防止のため、予定していたいろいろな行事はできませんでしたが、ささやかにお弁当のテイクアウトをするなどして楽しむこともありました。

11月には、グループホームそよかぜの浴室脱衣場に非常扉を取り付ける工事が完成し、非常時の脱出が可能になりました。脱出訓練を行いました。以前の脱出方法よりスムーズに安全に脱出することができるようになりました。

これからもグループホームが過ごしやすいところ、安心・安全なところであるように、働く職員、世話人にとっても風通しのよい場所になるように努めてまいります。

## 6. 活動報告

月	日	曜	活 動 内 容
4	1	水	長田清一さんグループホームあさひ利用開始
	2	木	石井眞由美さんお誕生日会
	11	金	長田清一さんお誕生日会
	24	金	新人職員オリエンテーション
5	12	火	鈴木くに子さん在宅支援
	14	木	鈴木くに子さん在宅支援
	18	月	桑原尚也さんOJT～5/30
	19	火	荒井七男様(マロン)ご逝去ご挨拶
	21	木	鈴木くに子さん在宅支援
6	26	火	鈴木くに子さん、石井眞由美さん在宅支援
	16	火	防災防犯委員会
7	23	火	世古幸さんお誕生日会
	1	水	山本順一さん事例検討会に出席(北病院)
8	14	火	強度行動障害研修(大森さん)
	17	金	強度行動障害研修(大森さん)
	17	金	理事会評議委員会
	20	月	舟久保健太さん体験利用(あさひ)～7/22
	3	月	武藤継久さん体験利用(あさひ)～8/7
	11	木	舟久保健太さん体験利用(あさひ)～8/14
	19	水	防災訓練そよかぜ
20	木	武藤継久さん体験利用(あさひ)～8/27	
26	水	そよかぜ共同募金監査	
26	水	防災訓練あさひ	

月	日	曜	活 動 内 容
9	1	火	舟久保健太さんグループホームあさひ利用開始
	1	火	防犯・防災委員会
	3	木	研修 大森さん
	11	金	くるみ作業所 ありが亭見学
	17	木	防犯・防災委員会
	23	水	相談支援従事者初任者研修(大森さん)～9/24
10	1	木	武藤継久さんグループホームあさひ利用開始
	8	木	舟久保楓さん誕生日会
	12	月	あさひインフルエンザ注射(楽天堂整形外科)
	15	木	そよかぜインフルエンザ注射(楽天堂整形外科)
	23	金	鈴木美知子さん誕生日会
11	2	月	虐待防止委員会
	10	火	防犯防災委員会
	16	月	そよかぜ1階脱衣所非常口工事(渡辺忠吉さん)
	16	月	伊藤和枝さん誕生日会
	18	水	サビ管研修(桑原)
	19	木	高次脳機能障害研修(大森)～11/20
12	21	土	あさひ屋根スレート穴埋め工事(芙蓉建設)
	22	日	山口寛子さんお誕生日会
	11	金	県実地指導監査
	14	月	虐待防止委員会
	24	木	クリスマス会
	29	火	鈴木くに子さん誕生日会
	1	5	火
19		火	防災委員会
2	1	月	GHあさひ 利用者会議
	3	水	初午祭・武藤継久さん誕生日会
	13	土	牛田愛都さんお誕生日会
3	1	月	あさひ 利用者会議
	2	火	そよかぜ利用者会議
	19	金	三浦沙織さん祖父通夜参列
	23	火	あさひ年度末食事会・舟久保健太さんお誕生日会
	29	月	そよかぜ年度末食事会
	31	水	渡辺雄大さんグループホームあさひ利用終了





## 相談支援事業

### 令和2年度事業報告書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

#### 1. 事業の内容

##### ◎ 指定特定相談支援及び指定障害児相談支援事業>

- (1) 指定障害福祉サービス等の利用を希望する者、当該市町村から当事業の利用の申込みの受理を検討します。受理したものについては、(2)からの支援を提供します。やむを得ず、受理できないものについては、当該市町村と協議し他相談支援事業所での事業の利用を依頼します。
- (2) 相談支援専門員は、当事者についてのアセスメントに基づき、当該地域における福祉サービス等の提供体制を勘案し、サービス等利用計画案を作成します。当該アセスメントにより把握された解決すべき課題等に対応するための最も適切な福祉サービス等の組合せについて検討を行い、当該利用申込者の障害の特性に応じた適切な配慮をしつつ、運営規程の概要、従業者の勤務体制、その他利用申込者のサービスの選択に資すると認められる重要事項を記した文書を交付して説明を行い、当該指定計画相談支援の提供の開始について利用申込者の同意を得た上で支援を実施します。
- (3) 相談支援専門員は、サービス等利用計画案を作成した際には、当該サービス等利用計画案の内容について、当事者に対して説明し同意を得た上で、当該サービス等利用計画案を当事者に交付します。
- (4) 相談支援専門員は、支給決定が行われた後に、指定障害福祉サービス事業者等との連絡調整を行うとともに、サービス等利用計画の原案に位置づけた福祉サービス事業等の担当者を招集して行うサービス担当者会議の開催等により、専門的な見地からの意見を踏まえた上で、サービス等利用計画を作成します。
- (5) 相談支援専門員は、前項のサービス等利用計画を作成した際には、当該サービス等利用計画の内容について、当事者に対して説明し同意を得た上で、当該サービス等利用計画を当事者及び担当者に交付します。
- (6) 相談支援専門員は、サービス等利用計画の作成後、サービス等利用計画の実施状況の把握「モニタリング」を行い、必要に応じてサービス等利用計画の変更、福祉サービス事業者等との連絡調整その他の便宜の提供を行います。
- (7) 相談支援専門員は、モニタリングに当たっては、当事者及びその家族、福祉サービス事業者等との連絡を継続的に行うこととし、支給決定時に市町村が定めたモニタリング期間ごとに、当事者の居宅等を訪問し面接を行うほか、その結果を記録します。
- (8) 相談支援専門員は、感染症拡大防止の観点から、対面での支援が必要な時以外のモニタリング、サービス担当者会議等については、電話や文章、Webなどのテレビ会議等により家族、関係機関へ確認したことを記録することをもって行うこととします。尚、モニタリング実施月でない月に実施する場合があります。

##### ◎ 地域移行支援及び地域定着支援事業

当事者が地域において自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、保健、医療、福祉、就労支援、教育等の機関と緊密な連携を図りつつ、指定地域相談支援を当事者の意向、適正、障がいの特性その他の事情に応じ、適切かつ効果的に行うよう努めます。

#### 2. 職員の職種、員数及び職務内容

- (1) 管理者 1名 (非常勤)

管理者は、従業員の管理、指定計画相談支援及び指定障害児相談支援の利用の申し込みに係る調整、業務の実施状況の把握その他の管理を一元的に行うとともに、事業の実施に関し、法令等において規定されている事項について、事業所の従業者に対し遵守させるために必要な指揮命令を行います。

- (2) 相談支援専門員 2名 (常勤専任<sup>16</sup> 1名、非常勤専任 1名)

(3) 相談支援員、地域移行支援・地域定着支援を担当する者

### 3. 通常の事業の実施地域

富士北麓6市町村全域（富士吉田市 富士河口湖町 西桂町 忍野村 山中湖村 鳴沢村）  
 その他、近隣市町村。 ※相談によってはこの限りではない。

### 4. 主たる対象者

身体障がい者 知的障がい者 精神障がい者 障がい児 難病患者など

### 5. 総括

令和2年度の契約者数は141名で、令和元年度と比べ1名増でした。モニタリング、計画作成など相談支援給付費をいただいた件数は件269件で、令和元年度と比べると39件の減となりました。この原因として、「契約はしているがサービスの利用が無く、モニタリングを行わなかった」「対面での面談や電話での確認が難しかった」というケースがあったためでした。新規契約者が12名、契約解除者が12名、契約終了後に継続して契約することになった方が1名いました。

10月にシステムの導入を行い、12月に本格利用が始まりました。システムを活用することで、今まで各相談員で把握していたモニタリング月などが一括管理でき、計画的にモニタリングなどを行うことができています。

コロナウィルス感染症の影響で、今までのように対面での面談が難しくなり、新しい支援方法(電話などでの聞き取り、Webでの研修)が取り入れられました。当センターは、対面しての面談を大切にしてきましたが、現在はやむを得ない状況です。これからも当事者や家族の声に耳を傾け、言葉の一つ一つを大切にしていきたいと思えます。

### 6. 活動報告

月	日	曜日	内容
4	17	金	月例会議
5	15	金	月例会議
6	19	金	月例会議
7	14・15	火・水	強度行動障害者支援者養成研修(基礎研修)：中澤
7	17	金	月例会議
8	21	金	月例会議
	25・26	火・水	強度行動障害者支援者養成研修(基礎研修)：渡辺
9	18	金	月例会議
10	1	木	相談支援システムひまわり 導入
11	11	水	富士・東部相談支援ネットワーク：渡辺
	13	金	苦情解決研修：渡辺
	20	金	月例会議
12	1	火	相談支援システムひまわり 使用開始
	25	金	月例会議
2	20	土	相談支援ネットワークやまなし ネットワーク研修(Web)：渡辺
3	10	水	富士・東部相談支援ネットワーク 北麓地域意見交換会：渡辺
	19	金	月例会議
	24	水	富士・東部相談支援ネットワーク：渡辺

## 7. 相談実績

### ◎ 指定特定相談支援及び指定障害児相談支援事業

年度末契約者数	141
---------	-----

#### ○モニタリング・計画作成 請求件数

	モニタリング	計画作成
4月	10	21
5月	9	6
6月	9	9
7月	10	24
8月	23	5
9月	23	3
10月	14	8
11月	12	9
12月	20	6
1月	8	3
2月	6	6
3月	21	18
計	151	118

#### ○支援件数

	対応件数 (総数)	方法 内容別 総数	利用した人 の 実人数
4月	261		
5月	176		
6月	240		
7月	223		
8月	177		
9月	212		
10月	238		
11月	146		
12月	194	140	45
1月	191	142	47
2月	184	136	43
3月	228	150	41
計	2470	568	176

### ◎ 地域移行支援及び地域定着支援事業

実績なし

## 障がい者就業・生活支援センターありす

### 令和2年度事業報告書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

#### <雇用安定等事業>

##### 1. 就業支援の実施

主任就業支援員1名、就業支援員1名を配置し以下の業務を実施

###### (1) 相談・支援の実施

- 障害者からの相談に応じ、その就業及びこれに伴う日常生活上の問題について、必要な指導及び助言その他の支援を行う。
- 事業主に対して障害者の就職後の雇用管理に係る助言等を行う。
- 障害者に対して、職業準備訓練及び職場実習をあっせんする。

障害者に対する相談支援		事業主に対する助言		職場実習のあっせん	
対象者数	352 人	対象事業所数	86 社	件数	22 件
相談件数	2,323 件	相談件数	459 件		
就職件数	26 件				

###### 主な相談支援内容

- ・ 準備訓練に関する相談・支援
- ・ 求職に関する相談・支援
- ・ 職場定着に関する相談・支援
- ・ 職業生活に関する相談・支援

###### (2) 在職者交流会の実施

在職者の交流参加希望者に対して交流会を実施する。交流会では、グループワーク等で職場の悩みを話し合う場を提供し、不適応課題の早期把握、改善を図り、職場定着を促進する。(年1回)

###### (3) 就業支援担当者の研修等

障害者就業・生活支援センター就業支援担当者経験交流会議に出席し、他のセンターとの交流・情報交換を行う。(主任、就業支援担当者1名)

###### 【障害者就業・生活支援センター意見交換会】

日程：令和2年12月4日 15:00～

※今年度は、コロナウイルス感染症の影響により、各県の代表者1名が主出席しWebでの意見交換会となった。

##### 2. 関係機関との連絡会議の開催

業務の円滑かつ有効な実施に資するため、他の就業・生活支援センター及び、ハローワーク、就労移行支援事業所、特別支援学校、自治体、福祉事務所等の関係機関との連絡会議を開催し、これら機関との連携を図る。(年9回)

## <生活支援事業>

### 1. 生活支援の実施

生活支援員（常勤）1名、生活支援員（非常勤）1名 を配置

#### (1) 地域内の障害者の状況把握及び登録

活動内容	実施期間	実施方法	
各種相談活動	随時	家庭・施設・学校・職場等への訪問または電話やメールによる相談。または来所相談。	1,089 件

#### (2) 登録された障害者に対する支援

活動内容	実施期間	実施方法	
各種相談活動	随時	家庭・施設・学校・職場等への訪問または電話やメールによる相談。または来所相談。	899 件
ケース会議の開催 または出席	随時	ケース会議を実施。または出席。	60 件
同行支援	随時	各種手続きやハローワーク等への同行支援。	58 件

### 2. 関係機関との連絡調整

- 就業・生活支援センター合同会議                      3ヶ月に1回開催
- 富士・東部自立支援協議会                              1ヶ月に1回開催、又は2ヶ月に1回
- 連絡調整会議    随時開催

#### <総括>

令和2年度はコロナウィルス感染症により、4月から6月は外出支援や来所相談の自粛を余儀なくされ、相談件数や就職件数、職場実習あっせん件数などに影響がでました。就労状況や求職状況も厳しく、観光業、製造業が特にダメージを受けました。労働時間の短縮や出勤日数が減り自宅待機となった方や、受注量の減少で、採用されてすぐに解雇を言い渡される方もいました。夏過ぎごろより状況は上向きになりつつありますが、まだまだ予断を許さない状況が続いています。

令和元年度よりハローワークの巡回相談を行っています。令和2年度は各ハローワーク合わせて21回行ないました。29名の相談者のうち精神障がい者が15人と多く、次いで発達障がい者が10名となっています。相談の内容は、就労に関する相談が最も多くありました。令和3年度よりハローワーク巡回相談が移動相談として事業となるため一層の周知を行っています。

※令和2年度 ハローワーク巡回相談集計表 参照

在職者交流会はコロナウィルス感染症の影響により1回のみで開催でした。令和3年度はコロナウィルス感染症の状況を見ながら感染症対策を徹底して開催できればと思っております。年間9回の開催を予定しております。

昨年度よりコロナウィルス感染症により対面しての相談や会議、研修などが制限され、Webでの会議、研修、面談を行っています。移動時間の軽減や気軽に研修に参加できることは大変メリットと考えています。県内の障がい者就業支援センターの連絡会議は毎月行っており、県外の企業との面談などにも役立っております。令和3年度においても活用していきます。

<活動報告>

月	日	曜	活 動 内 容
6	22	月	ハローワーク富士吉田巡回相談
	24	水	ハローワーク大月巡回相談
	26	金	ハローワーク都留巡回相談
7	9	木	富士北麓自立支援協議会 就労部会
	15	水	第1回障がい者就業・生活支援センター合同会議(定例会議)
	22	水	ハローワーク大月巡回相談
	27	月	ハローワーク富士吉田巡回相談
	28	火	自立支援・療育研修会
	30	木	ジョブコーチ支援事業推進会議
	31	金	ハローワーク都留巡回相談
8	13	木	自立支援・療育研修会
	22	土	在職者交流会「きずな」
	24	月	ハローワーク富士吉田巡回相談
	26	水	ハローワーク大月巡回相談
	28	金	ハローワーク都留巡回相談
9	3	木	職業ガイダンス
	10	木	富士北麓自立支援協議会 就労部会
	16	水	第1回Web障がい者就業・生活支援センター合同会議
	23	水	ハローワーク大月巡回相談
	25	金	ハローワーク都留巡回相談
	28	月	ハローワーク富士吉田巡回相談
10	7	水	就労機関との相談・支援定例会議
	8	木	富士北麓自立支援協議会 就労部会
	23	金	ハローワーク都留巡回相談
	26	月	ハローワーク富士吉田巡回相談
	28	水	第2回障がい者就業・生活支援センター合同会議(定例会議)
11	28	水	ハローワーク大月巡回相談
	12	木	富士北麓自立支援協議会 就労部会
	18	水	精神障がい者にも対応した包括ケアシステムとは：研修
	24	火	ハローワーク富士吉田巡回相談
	25	水	第3回Web障がい者就業・生活支援センター合同会議
	25	水	ハローワーク大月巡回相談
12	27	金	ハローワーク都留巡回相談
	4	金	障がい者就業・生活支援センター意見交換会：会議
	11	金	Web職業準備支援
	17	火	ジョブコーチ支援Web関係者会議
	22	火	ジョブコーチ支援Web関係者会議
	23	水	第4回Web障がい者就業・生活支援センター合同会議
1	13	水	Web職業準備支援
	18	月	定着支援に必要な視点について：研修
	22	金	Web職業準備支援
	27	水	第5回Web障がい者就業・生活支援センター合同会議
2	16	火	キャリアデザインワーク
	25	木	第3回障がい者就業・生活支援センター合同会議(定例会議)
3	3	水	職場適応援助者スキル向上研修
	5	金	質の高い障害者雇用を考える：研修
	14	日	権利擁護：研修
	22	月	ハローワーク富士吉田巡回相談
	24	水	ハローワーク大月巡回相談
	24	水	共生社会を学ぶ：研修
	26	金	ハローワーク都留巡回相談

## 令和2年度 ハローワーク巡回相談集計表

相談者数	29 名	男性	13 名	女性	16 名
------	------	----	------	----	------

年 齢	10代	1 名	20代	1 名	30代	3 名	40代	9 名
	50代	4 名	60代	11 名	不明	0 名		

相 談	初回面談	12 名	再面談	17 名
-----	------	------	-----	------

障がいの種別	精神	15 名	知的	1 名	発達	10 名	肢体	2 名
	視覚	0 名	聴覚言語	1 名	内部	0 名	難病	0 名
	高次脳	0 名	不明	0 名				

手帳の有無	有	23 名	無	3 名	不明	0 名
-------	---	------	---	-----	----	-----

相談支援内容の種別	福祉サービスの利用等に関する支援	1 件	家計・経済に関する支援	0 件
	障がいや病状の理解に関する支援	0 件	生活技術に関する支援	3 件
	健康・医療に関する支援	1 件	就労に関する支援	25 件
	不安の解消・情緒安定に関する支援	0 件	社会参加・余暇に関する支援	0 件
	保健・教育に関する支援	0 件	権利擁護に関する支援	4 件
	家族関係・人間関係に関する支援	2 件	その他	0 件

相談結果	関係機関紹介	1 件	相談継続	26 件	相談終了	1 件
	意見要望	0 件	その他	1 件		

## 訪問型職場適応援助者事業

### 令和2年度事業報告書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

#### ○ 職場適応援助者事業

職場適応援助者（ジョブコーチ）支援事業は、障がい者の職場適応に課題がある場合に、職場にジョブコーチが出向いて、障がい特性を踏まえた専門的な支援を行い、障がい者の職場適応を図ることを目的としています

##### 1. ジョブコーチ支援の内容

- ・ ジョブコーチ支援は、対象障がい者がその仕事を遂行し、職場に対応するため、具体的な目標を定め、支援計画に基づいて実施します。
- ・ 障がい者本人に対する職務の遂行や職場内のコミュニケーション等に関する支援だけでなく、事業主に対しても障がい特性に配慮した雇用管理等に関する支援を行います。
- ・ ジョブコーチが行う障がい者に対する支援は、事業所の上司や同僚による支援（ナチュラルサポート）にスムーズに移行していくことを目指します。

##### 2. 実施状況

支援人数	8	名
支援件数	33	件

##### 3. 総括

令和2年度の支援人数は8名で、支援件数は33件でした。昨年度と比べると、支援人数は倍に増えてきましたが、コロナウイルスの影響もあり、企業訪問が制限され、思うように支援件数を伸ばすことができませんでした。今年度もコロナウイルスの影響が予想されますが、支援人数、支援件数を増やし、より多くの方の職場定着に関わってまいります。